

はじめに

「第13回にほんごで話そう！日本語スピーチ大会」には、インドネシア、ベトナム、中国、韓国、アメリカ、ペルー、の6カ国にルーツを持つ13名が出場し、将来の夢、家族への想い、日本での異文化体験など様々なテーマに沿って、自分の思いや考えを日本語で発表しました。

今大会に出場されたスピーチ発表者の心のメッセージを、より多くの人々に届けるため、この記録集を作成しました。来場者から寄せられたスピーチの感想や発表者への激励のメッセージの一部もこの記録集に掲載いたしましたので、どうぞご覧ください。

今大会の実施に対し、スピーチ発表者をはじめ、会場までお越しいただいた多くの市民の皆様、発表者を日頃から支援されている日本語教室や学校の先生方、そして今大会に協賛いただいた企業・団体の皆様に心より感謝申し上げます。

発表者の思いが皆様に届き、そして周りの在住外国人とのコミュニケーションのきっかけにしていれば幸いです。

主催者一同



この大会は、市内の日本語教室で作る「大和日本語支援ボランティアネットワーク」、大和市で国際交流活動続けるボランティア団体「やまと国際フレンドクラブ(IFC)」および「公益財団法人大和市国際化協会」の共催により実施しました。

目次

No	名前	スピーチタイトル	ページ
1	フィン グエン ミン アイン	日本で生まれてうれしかったこと	1
2	パメラ ステア	日本語を覚えて話して楽しむ	3
3	チェピ ヒダヤット	私の仕事	6
4	楊 嘉敏	来日後の生活	9
5	牛 睿杭	兄と私	12
6	アリ プルノモ アジ	私が感心した日本の文化と習慣	14
7	元田 舞	しなやかに舞う	17
8	ラミレス キヨミ	私の夢	20
9	アンガ アスディヤンザー	私が作る未来	22
10	鮑 瑩蕊	日本で見つけた新しい生き甲斐	25
11	ディンダ 麗子	扉を開けて	28
12	朴 順徳	もっと心を開いて	31
13	アリ アクマル ルトフィ マウラナ	出会いが私を作る	34
	講評		37
	受賞者一覧		38

発表者1

フィン ゲン ミン アイン



● 出身・ルーツ

ベトナム

● 日本に来たのはいつ？

日本生まれ

● 発表者コメント

みんなにきいてもらいたい。

● 推薦者コメント 【大和市立柳橋小学校国際教室担当 中村弘子先生】

なんでも興味をもち学習にとりくみ、友達思いで困っている友達にもやさしく声をかけてくれます。自信をもって日本語でみなさんによびかけると思います。よろしくお願ひします。

スピーチタイトル 「日本に生まれてうれしかったこと」

私の家ぞくは、おとうさん、おかあさん、おねえさん、いもうとと私で5人家ぞくです。みんなベトナム人です。私が日本語を話せるようになったのは、5才のころです。ようち園で、おにごっこやかくれんぼをしたときに、ともだちに日本語を教えてもらいました。

小学生になってからは、ようち園よりボールけりの遊びが多くなり、すごく楽しくなってきました。学校のベン強はすきでしたが、理科は苦手です。国語のかん字がすごくむずかしいと思いました。ようち園からなかよしのアイリンちゃんとすごくなかよくなってベン強もふたりでがんばりました。

日本の学校には、いろんな楽しいことがあります。それは、友達と外や体育館で、ほかごも遊べることです。すきな遊びをたくさんできるからです。パパやママの子どものころは、外にでることがなかったそうです。

でも楽しいベン強だけではありません。理科と英語が私は苦手です。理科はかんさつや実けんのけっかを書いたり、よそうしたりします。いろいろむずかしい用語がでてきます。英語も少しわかるけど読めません。発音がむずかしいです。ローマ字は書けますが、読みかたがむずかしいです。

でも私の目標は、「大学」へ行くことです。

これからたくさん読んだり書いたりします。  
かん字も読めなければ、せつめいできません。  
ひと つた 人に伝えることはむずかしいけれど、ここの  
スピーチ大会で話せたことは、私のじしんに  
なります。

これからもがんばっていきたいです。おうえんしてください。きょうはありがとうございました。  
いました。

● 来場者・発表者からの応援メッセージ

- フィンさん 大学へ行く夢をかなえてください。応援しています。(竹下)
- アインさん スピーチがんばりましたね！たくさん勉強して大学をめざしてね。  
(IFC 長谷部)
- フィン ゲン ミン アインさん 学校で、がんばっている様子がよくわかりました。  
(すとう)
- ミン アインちゃん よくできました。
- かわいくて良かったよ。もうすこし大きく元気でしゃべるともっと良かったね。(K.K.)
- アインへ 声がもうすこし大きかったらよかったよ。これからもがんばれ。(りんより)
- フィンさん 一番最初の発表者なのに、とても落ち着いてスピーチしていましたね！とても良かったです！(田中)
- 上手！！発音がきれい！o^。がんばってね！(Sachiyo)
- フィンさん、発表がんばったね。(トキオカ ノリコ)
- ミン アインちゃん かわいくて日本語が上手ですね。スピーチはよく出来ました。これからも頑張ってください。



発表者2

パメラ ステア



● 出身・ルーツ

アメリカ

● 日本に来たのはいつ？

2015年8月1日

● 発表者コメント

日本語で話してみると、言いまちがいや聞きまちがいもあり、思ってもいない反応にあり、たのしい経験をいろいろしました。忘れられない経験をみなさんに話したいと思いました。

● 推薦者コメント 【つきみ野あいうえお 須藤和子先生】

来日して以来、パメラさんは富士山に登ったり、札幌雪祭りや祇園祭りに行ったりして、日本各地を旅行し、日本料理や生け花も習っています。毎日の生活では買い物や電車の中で、気さくに誰にでも話しかけて、会話を楽しみながら、日本人や日本語を理解しようと努力しています。礼儀正しい日本語を話すことが彼女の目標です。

スピーチタイトル 「日本語を覚えて話して楽しむ」

みなさんこんにちは！パメラ・ステアです。アメリカ人です。日本語を覚えて話して楽しむ！を始めます。

日本に来て、日本語を習って、人と話して色々な楽しい経験をしました。ある日電車に乗っていたら、傍の中学生ぐらいの男の子2人が話しているのが聞こえました。

「あ、外人いるよ！」

「そうだね！おおきい足だねえ！」

「おおきいねえ！」

電車の中には他に外国人はいません。私のことを話していると分かりました。そこで私は、

「はい！そうですね！」と足を上げて2人に見せました。吃驚した2人は目を丸くして黙ってしまいました。電車の中の人たちは、手をくちあわらして笑いました。日本語が分かって面白い経験をしました。

間違いからも日本語を覚ええました。ある時パンを買いに行きました。店員さんに「このパンにくすり入ってますか？」と聞きました。店員さんは驚いた顔をして「くすり？」と言いました。店員さんの顔を見て、私はすこし考えました。「あ、くるみです！」と言いました。店員さんは、「ああ、クルミ、クルミ入ってま

す！」と言ってにっこりしました。くすりとクルミはおおきな違いです。忘れられない日本語です。

日本語の意味の違いも覚えました。リンゴが“あまくておいしい”というときに“リンゴはうまい！”と言いますね。うまい！を覚えて、教室で「私のケーキはとてもうまいです。」と言ったら、先生は、「パメラさんは、うまいを使わないで！うまいは男の人の言葉です。」と言いました。

買い物で、スーパーの店員さんに話しかけると、「日本語、うまいねえ～」と言いました。私は混乱して、「私の日本語は“あまくて、おいしい”ですか？」と聞きました。彼は「いやいや、日本語上手だねえ～」と言いました。うまいには、上手という意味もあるのが分かりました。

楽しい経験もしました。ある日アメリカ人の友人数人で基地の外に夕食に出かけました。行く予定のレストランが定休日と分かりました。それでお寿司を食べようということになり、お寿司屋を探しました。よく知らないところで、なかなか見つかりません。うろうろしてたら浴衣に下駄、頭にはねじり鉢巻きの酔っぱらいが通りかかり、「アメリカ人で

しょ！ここで何してんの？」と私の肩をポンと叩いて聞きました。

「お寿司屋を探しています。」と言うと、「知ってるよ！ついてきな！」と言って歩き出しました。友人たちは、「酔っぱらいと話して、付いていくなんて、やめましょう！」と言いました。私は、「何言ってるの！ここは日本よ！アメリカじゃないのよ！大丈夫よ！」と言って、皆で付いていきました。彼はとても美味しくて雰囲気もいいお寿司屋さんにつれてくれました。皆大喜びでした。彼はもう夕食を済ませていましたが、「ビール、ありがとう！」と言ってお礼のビールを飲みました。道で人に話しかけられ、それに答えて話をして忘れられない思い出になりました。

日本語を話すことで、ビックリさせたり、間違えたり、意味の違いを覚えたり、親切な人に出会って忘れられない思い出になったり、いつもいつも面白い旅を経験しています。

熱心に日本語を教えてくれる先生方、出会った人たち、どうもありがとう、私はこれからも楽しい日本語の旅を続けます。

みなさん、ありがとうございました。

● 来場者・発表者からの応援メッセージ

- Pamela 練習をたくさんしてとってもとっても感動する良いスピーチでした！お疲れ様でした。(Chiem)
- パメラ ステア はっきり、ゆっくり発表できました。練習の成果がでています。おもしろかったです。(すと)

- Pamelaさん Thank you so much for your wonderful speech. I hope you will enjoy your stay in Japan and make friends with lots of Japanese. Have fun! (Tanaka)
- うまくまとめて、うまくしゃべれています。(K.K.)
- パメラさん いっしょうけんめいれんしゅうしたせいかがありましたね。すばらしいスピーチでした。(つきみ野あいうえお 若林)
- 日本語で苦労した事を話せていました。たくさん練習してがんばっていました。(むね)
- パメラさん 日本での色々な経験をジェスチャーをまじえユーモアに語っていて大変良かったです。日本の文化や習慣に興味をもって学んでいる様子が表現出来ていました。(原田)
- よくやりました。^o^(ナタリア)
- 面白い経験をされましたね。くるみ or くすり、電車の中学生。(Sachiyo)
- 今日の青空のように、うまくしゃべれるかという不安もふっきたようなすばらしいスピーチ、身ぶり手ぶりでした。ありがとう。(望月)
- パメラさん 今日のスピーチはよかったです。パメラさんのスピーチでわらわせてもらい、ありがとうございました。
- もっともっと楽しい生活をこれからも日本で送ってください。Keep on smiling! (牧野)
- いろいろな経験をして日本での生活を楽しんでください。
- パメラさん まちがったにほんごからおぼえた話がとてもおもしろかったです。くるみ、くすり？(ときおかのりこ)
- パメラさん speech良かったですよ！最高！！(あいうえお 中西)
- 日本と日本語をEnjoyされているようで、とても良かったです。
- パメラさん 日本での経験は素晴らしいですね。これからも楽しい日本の旅を続けてください。(きのした)
- パメラさんへ 色々な体験からさらに日本語を楽しんで下さいね。スピーチ、良かったですよ。(やまびこ さいとう)
- パメラさん 楽しいスピーチをありがとうございます。日本語の表現はむずかしいですががんばっているのが伝わりました。(IFC長谷部)
- パメラさん 日本語はむづかしいですね。これからも日本でたくさんの思い出をつくってください。(竹下)
- たくさんのできごとをおもしろくお話してきていました。
- パメラさんへ 日本語を勉強するために積極的に日本人と会話をしようとする姿勢はとても素晴らしいです！！これからも日本語の旅を続けて沢山思い出を作ってください。(つきみ野あいうえお 山岡)
- パメラさん とてもおもしろいスピーチでした。(すすき まりこ)

発表者3

チェピ ヒダヤット



●出身・ルーツ

インドネシア

●日本に来たのはいつ？

2015年5月16日

●発表者コメント

私のべんきょうした日本語が今どこまでできるか、みなさんに話したい、その気持ちがあって参加しました。

●推薦者コメント 【巡回指導室 近藤直也さん】

昨年の大和スピーチコンテストを見た際、来年は是非自分がスピーチを行いたいと心に決めて、1年間の学習に励んだとのことです。職場でも多くの日本人の方に囲まれ円滑にコミュニケーションをとりながら業務に励んでおります。彼は技能実習生で期間が満了すれば帰国となりますが、日本での良い思い出と彼の自信につながればと思います。

スピーチタイトル 「私の仕事」

皆さん、こんにちは。私は、チェピ・ヒダヤットと申します。歳は21歳です。平成28年5月に私はインドネシアから参りました。日本で、私は研修生として、約2年間実習を受けています。大和市にある、株式会社ニッコーという会社で、私は学んでいます。外国人の実習生は、インドネシアからの人しかいません。

今日、私は、私の仕事について話したいです。皆さん、仕事って、いろいろとたくさんありますね。先生やコックさんや駅員などがあります。高校生の時に、私の専門は調理がっかでした。私の友達が「何でその学校に行きたいのですか？」と聞きました。私が答えたのは、私は、大きな夢を持っています。な

んだと思いますか？それは、進んだ技術を持つ、日本に行って、その技術を学ぶことでした。日本の物作りは、本当に素晴らしいです。インドネシアのために、努力することが、私の夢だったので。そして、私は料理が好きでコックさんになりたい、そんな気持ちがありました。

その夢を、叶えるためには、まず調理学科に入学をして、実力を付けなければいけません。受験はととてもたいへんでした。筆記や運動能力試験などがありました。競争率が3倍以上で、とても難しく、合格発表までの2週間不安になりました。発表を見るのが怖くなって、緊張しました。しかし、失敗しても、諦めてはいけないと思いました。そう

したら、だんだん落ち着いた気持ちで、合格発表を見ることができました。結果は、合格でした。

日本で、私の仕事は、冷凍食品製造業です。会社での職場のセクションは、三つあります。処理と製造と出荷です。処理で、食材の選別、洗浄作業をして、皮むき・洗い・カット作業で食材の準備をしてから、計量作業です。製造では、処理で準備した、食材を食品にします。調理機械の準備や運転・移動作業や、加熱調理や温度測定をします。出荷では、調理状態の確認と冷凍作業です。その後、包装をして、箱入れ作業をします。それから、お客様に販売します。

会社内で私の仕事は、製造のフライヤーラインです。私にとって、重要な仕事がたくさんあります。それは、温度と時間をよく調節することです。指示書に、フライヤーの温度と時間が書いてありますが、温度・野菜の水分量によって、臭が硬くなったり、柔らかくなったりします。ちょうどいい商品を作るために温度と時間を調節しています。

私は、会社に行って、仕事をして、いいものを作って、そして、日本人の働き方を勉強したいです。会社で学ぶことって、仕事だけではなくて、たとえば時間があります。日本人は、その時間を大事にしています。

会社では、5Sと挨拶とハウレンソウを大切にしています。5Sとは、整理・清掃・

整頓・清潔・しつけです。挨拶とはおはようございます・いらっしゃいませ・ありがとうございます・お疲れ様でした、などです。相手の目を見て、大きな声で、元気よく行います。ハウレンソウとは、報告・連絡・相談です。この5Sとハウレンソウはどこの会社でもよく使います。ですから、大切です。

会社で、安全と品質と効率をアップするためにあるからです。たぶん、皆さん、もうご存じですね。5Sと挨拶とハウレンソウは、とても大事で、いいことです。会社の力を100%発揮するためです。

私は、フライヤーでけっこういろいろな揚げ物を作れるようになりました。天ぷらとカツとコロッケとハンバーグと団子を揚げてます。先輩は、とても優しく、食品を作る時、新しいこと、たとえば作り方やフライヤーの成型機の動き方を教えてくださいました。仕事もいろいろ変わるたびに、新しいことを覚えなければいけないので、ただしいやり方など、たくさん勉強しました。

おかげで、仕事にも慣れ、今ではどんな担当になっても、自信を持ってやることができるようになりました。私の夢は、日本で学んだことを生かして、日本の料理のレストランを開きたいです。そして、インドネシアの食の発展の役に立ちたいと思います。

(写真)これは私の未来の姿です。ご清聴、ありがとうございました。

● 来場者・発表者からの応援メッセージ

- チェピさん 5Sとハウレンソウ、あいさつは仕事で大切ですね。レストランを作る夢かなえてください！（竹下）
- 日本語のむずかしい単語の発音がすばらしい。大きな声ではっきりしたスピーチはとてもわかりやすかったです。
- ステキなレストランを作ってくださいね。しっかりいいことだけべんきょうして、たいせつなにんげんになるため、がんばれ・・・（フセイン）
- チェピさん 5S、あいさつ、ほうれんそう、どんな仕事でも憶えた！インドネシアでのあなたのお店に試してみたいです！頑張れ！！（きのした）
- 未来のレストラン、オーナーですね。（牧野）
- チェピさん ゆめに向かってたくさんのお話を学んでいるんですね。すばらしい！！（ときおか のりこ）
- すばらしい人材。
- チェピ ヒダヤットさん 大きな声でとてもわかりやすかったです。日本料理のレストランを開く夢がかなうことを願っています。（すとう）
- チェピさん 夢がかなうといいですね。お店に食べに行きたいので是非頑張ってください。（ヤマオカ）
- 文法が完璧！和食レストラン頑張ってネ！（Sachiyo）
- 日本とインドネシアのかけ橋になって下さい。（青柳）
- チェピさんへ 大きな夢がかないますよう、これからも元気で頑張ってください。
- チェピさん すばしかりかったです！！ ますます頑張ってください！
- チェピさん はっきりした話し方で聞きやすかったです。インドネシア料理レストランを作ってください。
- チェピさん 日本で学んだことを生かして日本とインドネシアのかけ橋になって下さいね。（IFC長谷部）

発表者4

楊 嘉敏



● 出身・ルーツ

中国

● 日本に来たのはいつ？

2016年5月5日

● 発表者コメント

毎日少しずつ前に進みましょう！

● 推薦者コメント 【日本語教室かけはし 中村浩先生】

来日して、2年。6月に日本語能力試験N2に挑戦する予定。合否にかかわらず、本大会に参加することにより日本語の自信を高めて欲しい。

スピーチタイトル 「来日後の生活」

皆さん、こんにちは！楊と申します、中国から来ました。2016年6月に日本に来て、もうすぐ2年になります。

日本に来る前には日本の事を良く知っていると心得ていました。なぜかという、彼は日本で生活していて、よく日本の事を話してくれました。また、当時私も中国で日系企業に勤めており、日本人の同僚から日本のことをよく聞いていました。なので、何も準備せずに自信满满で来日しました。

しかし、日本語ができないため、日常生活をしていく上で簡単なことさえ自分でできなくなり、深い井戸の底にいるような虚しさ・寂しさを感じました。

夫と二人で生活を始めましたが、彼は毎日遅くまで仕事をして、週末にも会社に出勤していたため、普段は一人で家に閉じこもっていました。テレビをつけても日本語がわからないし、外に出ようと思っても行先はわからないし、話し相手もないため、毎日の会話は夫の出かける時と帰宅時の挨拶だけでした。

ここで皆さんに質問があります。皆さんは一日食べることに何回考えていますか？一日三食、食べても四・五食でしょうか？でも当時の私にはできることが無いので、一日中ずっと食事の準備の事を考えていました。毎日家の近くにあった三つのスーパー

を巡って、料理のために何時間も見ていました。夫が家に着くタイミングに合わせて、ご飯を作ったり、お茶を入れたりして、準備していました。私の夫はその時とても幸せだと思います。なぜなら、体重が60キロから80キロまで太りました。でも、私は当時の自分が好きではありません。当時の私は24歳、人生は料理だけではないと考えていました。

2016年9月に姫路で初めて日本語教室に参加しました、ボランティアの先生から日本語を教えてもらったり、ごみ処理工場に見学に行ったり、お祭りに参加したり、茶道教室に参加したり、日本の文化に多く触れることができました。その時から日本の生活はバラ色に変わりました。

2016年12月18日その日をよく覚えています、はじめて電車に乗って大阪の心斎橋まで行きました。1時間以上の距離で乗り替えも一回ありました。ドキドキして外の景色をみる余裕もなく、ただただ乗り越さないよう

に、耳をそば立てて電車のアナウンスを聞いていました。

それからは日本ではじめてのことがたくさん出来ました。初めて銀行に行って口座を開きました。初めて一人で病院に行きました。初めてアルバイトの面接を受けました。目の前で倒れたおじいちゃんを助ける為に救急車を呼びました。

今も毎日料理を作っています、でも私の一日の生活はもう料理だけではないのです。日々、自動車学校、アルバイト、日本語の教室などに通っています。時間のある時には一緒にコーヒーを飲んだり、散歩する友達も出来ました。

このスピーチは波瀾万丈の人生を語っているものではなく、私の来日後の平凡な変化だけであり、成長は毎日少しずつですが、全ては良い方向に向かっています。今は毎日やる気満々で過ごしている事を実感しております。

### ● 来場者・発表者からの応援メッセージ

- ・楊さん 充分に練習された語り口で大変よかったです。いつも前向きな姿勢で物事をこなされている様子がよくわかりました。(原田)
- ・楊さんへ 声がかわいい♡日本の生活が楽しくなっているのは楊さんの好奇心がそうさせていると思います。色々な事に楽しんで挑戦する姿はとても素的です。これからも頑張てね。(ヤマオカ)
- ・落ち着いて、話すスピードもよかったです。
- ・これからも笑顔を忘れないで。(牧野)
- ・日々の生活の中で日本の文化、習慣を学びながら日本語を学習していることが大変すばらしいことだと思います。

- 楊さん 来日2年！びっくり！とても上手な日本語ですね。毎日の日常生活がより良いものになる事を祈ります。(きのした)
- お料理以外のたくさんの方ができるようになって良かったね。(Sachiyo)
- 楊さん 毎日よい方向に変化していく生活の様子がよくわかりました。きれいな発音でした。(すとう)
- 日本語の発音・発声に今一段の努力を期待する。
- 楊さん 日本で生活する楽しさが伝わってきました。(竹下)
- 楊さん 難しい表現も上手に使えていて、おどろきました。
- 楊さん とても感動をいただきました。同じ心の中のことを楊さんのスピーチで伝えていただいたと感じました。楊さんのスピーチを聞いて本当によかったと思います。
- とても落ちついていて上手に話せていました。お疲れ様でした。
- 楊さん 日本語がわかるようになってできることが増えましたね。もっともっと充実した生活になることを祈っています。(IFC長谷部)
- 楊さん よく気持ちが分かりますね。頑張ってくださいと思います。



発表者5

ぎゅう ろいこう  
牛 睿杭



●出身・ルーツ

ちゅうごく  
中国

●日本に来たのはいつ？

2017年8月3日

●発表者コメント

がんばります！

●推薦者コメント 【座間総合高校 宗田千絵先生】

牛君は2017年8月に来日したばかりですが、日本語をはじめとして一生懸命勉強しています。やさしい性格でクラスでも人気者、日本人の友だちもできました。

スピーチタイトル 「兄と私」

みなさん、こんにちは。私は牛ロイコウと申します。去年の8月に、中国の大連から来ました。

私には双子の兄がいます。中国では一人っ子政策のため、友だちは兄弟がいません。私たちはとても幸運でした。いつも二人一緒に、同じように育ちました。小さい頃から、同じ服を着て、同じおもちゃで遊びました。海の近くにいたので、よく一緒に泳いだり、魚を釣ったりしました。兄は魚を釣るのが上手で、大きい魚を釣ります。私はカニを取るのが好きで、兄の釣った魚を細かく切ってカニの餌にしてしまうので、よく怒られました。

私たちが12歳の時、父が日本へ行くことになり、私たち兄弟は、大連の祖父母の家で暮ら

すことになりました。

成長するにつれて、二人の性格も、好みも、友だちも違っていきました。私は外で遊ぶのが好きですが、兄は家で遊ぶのが好きです。私はアニメとゲームが好きですが、兄は小説を読むのが好きです。もう二人が同じ服を着ることもなくなりました。

中学を卒業すると、私たちは別々の高校に進学し、別々に暮らし始めました。全寮制の学校なので、お互いに、会う機会もなくなりました。

ところが、去年の8月、私たちは、両親と住むために、日本へ来ることになったのです。私はとても喜びました。アニメが好きなので、いつか日本へ行きたいと思っていたからです。でも兄はあまり日本へ来たくないようでした。兄

だけ、学校の関係で一度中国に戻り、私は日本で一人になりました。とても孤独でした。でも、日本に来ることは自分が決めたことだから、日本語の勉強を頑張り、日本でたくさんの友だちを作ろうと思いました。

3か月後、兄が日本へ戻ってきました。兄と日本でまた一緒に暮らすことになり、やっぱり兄弟がいて本当によかったと思いました。

日本の家の隣に、小さい川が流れていて、そこに大きい鯉がいました。私たちは子どもの頃、よく一緒に魚釣りをしたことを思い出しました。でももう鯉は釣りません。

今年の春、私と兄は、座間総合高校に入学しました。そして同じクラスになりました。私たちはまた同じ服を着ることになりました。クラスメイトは30人で、25人の日本人、私たち2人の中国人と、3人のフィリピン人です。みなとてもやさしく、一緒に勉強するのが楽しいです。

クラスメイトの誕生日には、みんなで黒板に

「おめでとう！」と書いて、お菓子を食べ、歌を歌いました。私の誕生日ではありませんでしたが、とても楽しかったです。

遠足では、火を起こしてご飯を炊き、カレーを作りました。みんなで協力して作ったカレーの味は、最高でした！

中国の学校では、あまり楽しい思い出はありません。毎朝7時に寮を出て、夜九時に帰る生活で、ご飯も学校で食べます。毎日山のような宿題が出ます。勉強、勉強、勉強で、こんな顔になります。でも今は毎日笑って過ごしています。

私は日本語の勉強を頑張って、高校在学中にN1を取りたいです。そして日本の大学に進学して、日本の会社に就職して、ずっと日本に住みたいと思っています。

これでスピーチを終わります。

● 来場者・発表者からの応援メッセージ

- ・牛 睿杭さん いっしょうけんめい日本語を勉強して1級に合格して大学に入って下さい。(すとら)
- ・これからもお兄さんと仲良く日本で笑顔で暮らして下さい。(竹下)
- ・いっぱいサカナを食べてください。あたまよくなるよ。イケメンだったね・・・(フセイン)
- ・牛さん(二子さん) ぜひ日本で良い社会人になって下さい。(木下)
- ・牛さん 大好きなお兄さんと一緒にの高校生活楽しんでくださいね。(IFC長谷部)
- ・加油。
- ・お兄さんと、また一緒に暮らせるようになって良かったね！(Sachiyo)
- ・牛さん 数か月で高校に入学できたなんて、すごいですね。がんばってね。  
(トキオカ ノリコ)
- ・牛さん これからも日本に住んでたくさんのすてきな出会いをして下さい！(田中)
- ・牛 ろいこう君 頑張りましたね！！かっこ良かったヨ！！(Fukui)
- ・お兄さんとずっと仲良くしてください。(牧野)

発表者6

アリ プルノモ アジ



●出身・ルーツ

インドネシア

●日本に来たのはいつ？

2016年12月18日

●発表者コメント

日本に来て感心したことがたくさんありますので、スピーチ大会で話したいと思います。

●推薦者コメント 【大和日本語教室 隈部和子先生】

日本語を熱心に勉強するだけでなく、交流会や遠足などにも積極的に参加し、皆の中心的役割をはたしています。

スピーチタイトル 「私が感心した日本の文化と習慣」

私はインドネシアからの技能実習生として日本にまいりましたアリプルノモアジと申します。来日していつの間にか1年7ヶ月が経ちました。あっという間でした。高校を卒業して、すぐに日本で実習することになっていましたが私にとって海外に行くのは生まれて初めてのことで色々な事を準備しておかなければなりません。

まず、デポックセンターという日本語を勉強する所で4ヶ月ほど日本語を勉強しました。そのとき、生活に困らないように先生は日本の文化や習慣を教えてくださいました。先生によると、大切なことは「挨拶」と「おじぎ」だということです。初めて日本に来た人にとって挨拶とおじぎが上手にできればより深く交流できるということです。しかし、日本に来てみると挨拶とお辞儀だけでなく

私はまだ知らない文化と素晴らしい習慣がいっぱいあると思いました。そこで、私が感心した日本の文化や習慣を3つ話したいと思います。

まず最初は相手を尊重することです。日本に来て以来、日本人が日常生活でよく挨拶の言葉を言いながら相手を尊重している場面を何度か目にしました。日本人は初めての人と会う時、名刺の交換をしながら互いに何度もおじぎをしています。電話中、相手が見えなくてもお辞儀をしながら電話をかけている日本人がいます。日本人はどこでも、いつも相手を尊重している人たちだと思います。私は今、フットサルのチームに入っているのですが、ゲームの中でぶつかった時日本人は必ず最初に「ごめん、大丈夫？」と聞いてき

また、パスミスをしてしまった時にもいつもチームメイトに「ごめん、わるい！」と何回も言っています。謝る言葉で、お互いの誤解をなくしたいとしているので、相手は尊重されていると感じるでしょう。挨拶をいながら相手を尊重すると人間関係が良くなりますし、それにもっと協力出来るんじゃないかなあと思います。

次に自立ということです。日本は小さい頃から子供たちが自立できるように教育されています。私の会社の寮は小学校から近く、寮の前にある道は幹線道路です。毎朝、会社に行く時に、小学生に会います。私は初めて、学校に行く途中の1年生ぐらいの小学生を見た時、親は送り迎えをしないし、それに重そうなるランドセルを背負い、他の学用品も持っているのに驚きました。小さい小学生がこんなことを自分でやるなんてすごいと思いました。小さい頃から自立することに慣れていれば大人になって自分で生活する上で親離れできないわけがないと思います。

最後に「列に並ぶこと」について話します。列に並ぶことは日本人の代表的な習慣だという意見があります。日本人はコンビニでお金を払ったりバスや電車に乗ったりトイレに行ったりする時いつでも列に並んでいます。そして、日本人は大変時間を大切に作る人たちですが、どんなに急いでいても列に並び、またその列に割り込む人はほとんどいないと

おもいます。去年の11月に渋谷にあるAppleおもてさんどうてん表参道店でiPhone Xが発売されました。

iPhone Xをいち早く手に入れるために数日前から数百人が並んでいました。みんなしゅくはくどうぐもぎょうれつはいなんにちどうろ宿泊道具を持って行列に入って何日も道路のそばで泊まっているのを見てびっくりしました。その中に日本人ばかりでなく外国人もいました。その外国人はきっとこの日本の文化にもうすっかり慣れていたんだと思います。私も列に並ぶのは慣れましたがこの行列に並ぶほど日本文化に慣れていませんでした。

日本に実習に来たということは現場にある技術とシステムを勉強するだけでなく、周りの人々の文化や習慣を勉強する必要があります。気がします。諺にある通り、「郷に入っては郷に従う」ということです。つまり、どこに住んでいてもその場所のルールを必ず守るべきだということです。ルールには文字に書いていないこともあります。それは文化や習慣です。いち早く慣れるためには周りの人と交流すればいいと思います。私は日本の文化や習慣に慣れてきて嬉しいです。とにかく、インドネシアに帰国したら日本で身につけた、いい文化を守り、周囲に広めたと思っています。宝物として大切にします。以上です。ご清聴ありがとうございました。

● 来場者・発表者からの応援メッセージ

- ・アリスさん 自然な流れの気持ちのよい日本語でしたよ。資料もじょうずに使ってわかりやすかったです。(ハシクラ)
- ・アリスさんへ 落ちついて発表できました。何を見て何に感動したかよくわかりました。

- 日本の文化や習慣をインドネシアへたくさん伝えてください。(出羽はじめ)
- Bagus !
- 日本人の3つの長所(?)が面白かったです。日本語はとても上手でした。
- 日本人のあいさつや様々な習慣をよく観察し理解して母国に伝えようとする気持ちがうれしいです。(酒井)
- アリ・プルノモさん 「あやまる事は相手を尊重すること」あなたの言葉に私の日常を反省しました。今後とも日本の文化を吸収してください。(木下)
- アリさん 話すスピードがとてもわかりやすいスピードではっきりきこえました。笑いもありましたね。
- 日本の文化・習慣をよく観察していますね。地域貢献を通じてさらに日本を学んでください。あと一年半の日本の生活ですが、まんきつしてください。すばらしいスピーチでした。(くしだ)
- アリさん 日本で知った新しい文化と習慣を楽しく話してくれましたね。これからも日本の文化や習慣の違いを楽しんでください。(IFC長谷部)
- アリさん とても上手でした。発音も流れるようで違和感ありませんでした。これからはがんばって!!!
- アリさんへ 君のスピーチはうまくておもしろいですよ。アリさんのきているふくはすてきです。何といたしますか。
- アリさん 日本のいい所を教えてくださいました。ありがとうございました。(竹下)
- アリさん いいスピーチでした！日本人の私こそ、アリさんにいろいろ教えてもらいました。(トキオカ ノリコ)
- 日本のすばらしい所を学んでインドネシアで活躍してください。がんばれ！(T.AOYAGI)
- 相手を尊重すること。自立すること。並ぶこと。意識したことはあまりなかったです。(Sachiyo)
- 働くことの素晴らしさが伝わってきました。夢を実現することを願っております。(大和CC 林)
- アリ・プルノモ・アジさん 写真を使っのスピーチわかりやすかったです。はぎれのよい口調がすばらしかったです。(すとう)
- アリさん 日本語がとても自然でびっくりしました。日本人みたいでしたヨ！(田中)
- アリ・プルノモ・アジさん 2年弱の日本滞在期間でこれだけの日本語スピーチをされたことに驚いています。さらに日本の文化や習慣にまで興味を持ちそれを吸収しようとする姿勢に感心しました。これからはがんばってください。(大和田園ロータリークラブ 古木)

発表者7

元田 舞



出身・ルーツ

ベトナム

日本に来たのはいつ？

2016年10月

発表者コメント

とても特別な気持ちでワクワクしています。大会での自分を想像するだけでも緊張が込み上げてきます。自分の能力を発揮するこのチャンスをのがすわけにはいきません！聴衆者の期待に応えられるよう私は全力でよいスピーチを贈ります！

推薦者コメント 【神奈川県立横浜 修 悠館高等学校 村田周子先生】

日本語の学習はもちろん、学校生活に対して非常に意欲的に取り組んでいます。この大会が様々なことに関心を持ち、挑戦していく機会になると思います。

スピーチタイトル 「しなやかに舞う」

皆さん、こんにちは。私は、横浜 修 悠館高校の1年生です。今日は、16年間の私の人生と、これからについてお話しします。

私の両親はベトナム人です。父は20代の頃ベトナムから難民として1人で来日し、自分の生活を支えながら日本の高校と大学を卒業しました。日本の会社に就職してからは、ベトナムの家族に仕送りをするために一生懸命働きました。お金を貯めてベトナムに一時帰国した時、母と出会い、結婚しました。それから日本で私が生まれ、その9年後には妹も生まれました。

ところが、幸せな生活は、あまり長く続きま

せんでした。父は人に騙され、日本で貯めたお金をすべて失ってしまったのです。そのことが原因で両親は離婚。母は妹を連れてベトナムに帰ってしまいました。

その後2011年に東日本大震災が起り、父と私もベトナムに帰ることになりました。私は小学校3年生でした。それから6年間、私はベトナムの祖母の家で暮らしながらベトナムの学校に通いました。祖母は毎日美味しいご飯を作って、私を育ててくれました。一緒に暮らしていた叔母は、私たちを経済的に支えてくれました。祖母と叔母がいなければ、今の私はありません。生きていくための強さを教えてくれた二人には、心から感謝しています。

再び日本で暮らし始めたのは、一昨年の10月、私が14歳の時でした。私は藤沢の六合中学の3年生に編入しました。中学3年の10月といえば、みな受験で忙しい時期です。私は日本語も、教科の勉強にも、周りの雰囲気にもついていけません。6年ぶりの日本での生活は、本当に寂しかったです。

六合中学校には、週1回、ベトナム人のハ一先生が来てくださいました。ハ一先生は、初めは少しずつ日本語で話す練習をしながら、勉強のことや、日本の生活に必要なこと、例えば電車やバスの乗り方やマナーなどについて教えてくださいました。ハ一先生も父と同じく難民として日本へ来られた方です。

ハ一先生とはいろいろな話をしました。「なぜ戦争が起きるのか」、「本当の愛とは何か」、「生きる上でいちばん必要なことは」など。話しているうちに、少しずつ自分の歩く道が見えてきました。私に生きる希望を与えてくださったハ一先生のことは、一生忘れません。

高校に進むとき、私は通信制の横浜修悠館高校を選びました。自分のペースで勉強を進められるスタイルが自分に合っていると思ったからです。

私は今、父と妹と弟と4人で暮らしています。父は夜勤の仕事で、夜出かけて朝帰り、昼間は寝ています。妹は小学校4年生です。日常的な日本語はわかりますが、学校の勉強は難しいです。弟は小学校1年生です。来日してまだ4ヶ月なので、日本語も何もわかりません。最近、学校へ行きたくないと言い出して、困っています。私は母親代わりとして毎日頑張っています。

経済的にも学力の面でも心配なことは、まだまだたくさんあります。でも、私は将来自分の生活を自分で支えられるようになりたい、そして、どんな時でも夢を語れる人になりたいと思っています。

ベトナムでは、住んでいる地域や経済状況によって、教育の質に格差が生まれ、夢を持つのが難しい子どもたちがたくさんいます。私は将来、そんな子どもたちにも夢を語れるようになってほしいです。

私の名前は舞。ベトナム語ではMai。しなやかさという意味です。二つの国の言葉を合わせるとしなやかに舞う。私はこの名前のように、これからも日本とベトナムをつないでいきたいと思っています。

### ● 来場者・発表者からの応援メッセージ

- ・異国で良くめげずに頑張られています。強く生きてください。(K.K.)
- ・おとうさん、妹さん、弟さん、みんなを大切にしてください。そして自分も大切にしてください。
- ・是非、日本とベトナムの大きな「かけはし」として活躍してください。(出羽はじめ)
- ・舞さん あなたの強さが十分に伝わる元気でおちついたどうどうとしたスピーチでしたね。これからも家族の中心、太陽としてがんばってください。(望月)

- 舞さんへ たくさん大変なことがありましたね。それらはみんなあなたの財産になると思いますよ。(さいとう)
- 舞さん 素晴らしいスピーチをありがとう。とても感心しました。16才という年齢でこれだけしっかりした考え方ができる人はあまりいません。これからもしなやかに強く美しく舞ってください。(大和田園ロータリークラブ 吉木)
- 元田さん 堂々とした発表でカッコよかったです。(竹下)
- 私の息子も六会中学校の1年生です。外国人のクラスメイトもいます。ハー先生がいたら舞さんのすばらしいスピーチのこと伝えますね。(Meg)
- きみはひとりじゃないから。まいにちしょうらいのため、がんばれ・・・(フセイン)
- 可愛い・・・!♡
- マイちゃん いいスピーチですね。日本語も上手です。(イワン)
- 色々大変だろうけど頑張ってるね。(Sachiyo)
- りょうしんにかわってたいへんなことですね・・・がんばって!!
- マイさん とてもすばらしいスピーチです。ゆめがかなうよう祈っております。
- 元田さん ベトナムからの大変な来日その後の日本での生活とあなたの気持ちを心にずっと持ち続けてください。(木下)
- 元田さん 家のこと日本語学習すべてに真剣に向きあっている元田さん立派です。がんばってくださいね。(IFC 長谷部)
- いつも一生懸命な舞さん すばらしいスピーチをありがとう! 応援しています。たくさんのお友達を作ってくださいね!(田中)
- 舞さんのスピーチに感動しました。同じベトナム人で共感しました。これから強い気持ちで頑張りなさい。
- 舞さん スピーチ良かったよ。君は一人じゃないからネ。(あいうえお 中西)
- まいさん まいさんのスピーチを聞いて良かったです。頑張ってくださいね。
- 言葉に心が入っていて素晴らしいスピーチでした。苦難を乗り越え成長することを期待しています。(大和CC 林)
- 家族の絆の強さと舞さんの心の強さに感心しました。(酒井)
- まい様 いつも明るく元気で前向きな姿が素晴らしいです。がんばってね。(T.AOYAGI)

発表者8

ラミレス キヨミ



●出身・ルーツ

ペルー

●日本に来たのはいつ？

日本生まれ

●発表者コメント

がんばってみんなの前ではなしたい。

●推薦者コメント

【大和市立柳橋小学校国際教室担当 中村弘子先生】

1年生の時は、日本語がうまく話せず国際教室で友達とスペイン語ばかり話していたキヨミさん。ひらがな、カタカナ、漢字を毎日練習していた努力家です。今では自分の考えをしっかりと話せるようになりました。

スピーチタイトル 「私の夢」

私の夢は、「どうぶつのおいしゃさん」になることです。どうぶつは、ことばをはなせません。びょうきやけがをしても「いたい。」といえません。

わたしは、日本で生まれたけれど、家ではみんなスペイン語をはなしていました。1年生に入学しても、先生が話していることがわかりませんでした。こくさい教室にいくと、スペイン語を話せる友達がいてうれしくなりました。トランプのゲームで「ウノ、ドス。」と大きな声で遊んだりもしました。でも教室にもどると日本語なのですこしさびしくなりました。でも、ともだちやこくさい教室のおにいさんやおねえさんたちが日本語を教えてくださいました。こくさいの先生

も、ひらがな、カタカナ、かん字をなん回もわかるまで教えてくださいました。少しずつ日本語がわかってきて、「おはようございます」、「さようなら」などあいさつができるようになりました。とてもうれしかったです。

じゅういさんになるためには、たくさんべん強しなければなりません。でも、みんなの前でひとも話せなかったわたしが、みなさんのおかげで、楽しく話せるようになりました。あきらめず、さいごまでがんばってじゅういさんをめざします。おうえんしてください。きょうは、わたしのスピーチをさいごまできいてくださり、ありがとうございました。

● 来場者・発表者からの応援メッセージ

- あんきしてメッセージをしっかりと言えたのはとてもよかったです。Qué bien que ha podido aprender de memarid.
- a nino.
- キヨミさん がんばってじゅういさんになってね。きっと動物たちもよろこびます。  
(IFC 長谷部)
- キヨミさん がんばって獣医さんになって下さいね。(Sachiyo)
- ラミレスさん がんばって獣医さんになって下さい！(竹下)
- がんばって立派な獣医さんになって下さい(牧野)
- すばらしい動物の先生になって下さい。頑張れ！(きのした)
- ラミレス キヨミさん とても落ち着いてスピーチができました。これからもいろいろなことにチャレンジして下さい。(田中)



発表者9

アング アスディヤンザー



●出身・ルーツ

インドネシア

●日本に来たのはいつ？

2016年1月25日

●発表者コメント

ドキドキしていますが、スピーチ大会を楽しみにしています。

●推薦者コメント 【極 東 開 発 工 業 株 式 会 社 竹 下 尚 志 さん】

日々の仕事で溶接技能習得など忙しい中、日本語の勉強にも意欲的に取り組んでいる  
頑張り屋です。

スピーチタイトル 「私が作る未来」

みなさん、こんにちは。初めてお目にかかりますね。私の名前はアング・アスディヤンザー、アングと申します。歳は21歳、インドネシアから参りました。もう日本に来て2年6か月になります。本日、私は「私の作る未来」について、お話をしたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

未来！未来っていつ始まりますか？みなさんへご存じですか？……私は、知っています。どうして知っているのかというと。それは、3年前の、自分が描いた未来に、こうして今、私自身がいるからです。私はたまたまここにいるのではないんです。自分でこうなる未来を作ってきたのです。もっとも、こうしてスピーチ大会に参加することまでは考えていませんでしたが（笑）。

でも、だから私は未来がいつから始まるのか知っているのです。未来は、今日から始ま

ります。今日いいことをやれば、明日いいことが起きます。そしてまたいいことをやれば、次の日も……となります。つまり、毎日いいことをやったら、いつかきっといい未来になるとおもいます。その時、一番大切なことは積み重ねと夢を持つことです。

幼いころ、私は弟と約束をしました。それは、大切な人を幸せにすることです。誰だと思えますか。大切な人は、お母さんとおばあさんです。その約束は、いつか私の夢に変わっていきました。その夢に届く方法も分かっていた。それは、研修生として日本に渡り、約3年間の研修生活を送ることです。日本の高い技術力を学び、その技術を日々の仕事でさらに磨き、一人前の工員になり、帰国後お母さんたちを安心させることです。だから、私はジークの研修生試験を受けました。工業の基礎はインドネシアの高校で学んで

いたので心配ありませんでしたが、日本語の学習、習慣や文化の違いを学ぶなど大変なこともたくさんありました。どうか合格し、日本に初めて来た時の感激は忘れられません。口について出る言葉は、「やっぱり日本はきれいですね」でした。ゴミの落ちていない道路、分別されているゴミ、本当にすばらしいです。そのうえ、電車は予定時刻ピッタリきます。そして、電車のドアも、私たちが並んでいる線の所で開きます。信じられません。日本人の真面目さのシンボルのようです。

日本に来てから、私は極東開発工業で働くことができました。私は極東開発の三期生です。二期生の先輩たちとは2年間でしたが、一緒に働くことができました。先輩たちは「溶接をきれいにしなければいけない」と言いましたので、私はがんばって、がんばって練習しました。図面を覚えなければいけないこともたくさんあり、大変でしたが、うれしい気持ちでした。なぜなら、いろいろなことを教えてもらえたからです。

そんな時、お母さんから、おばあさんが心臓の手術をしなければならぬ、という電話がありました。でも、私たち研修生は、帰国を許可されません。だから、一生懸命ビデオメールで話しました。おばあさんは、「私は大丈夫だ。5回お祈りするのを忘れないでね」と言ってくれました。でも、いくら言われてもずっと気になっていますが、3年間の研修を終えるまで帰ることができないので我慢しています。

今は仕事も生活も慣れてきましたが、私の日本語はまだまだだめです。職場にはそんな私を分からない方もいらっしゃいます。そのため、よく誤解が起こるのです。いつだったか、「これも持ってきますか」と聞いたとき、「いいよ」と言われたことがありました。と

ころが、その部品を持って行ってあげたのですが、「お前は本当に馬鹿だな。なんでこの部品を持って来たんだ！いいよと言ったのに分からないのか！」と怒られてしまったんです。「いいよ」つまりいらぬという意味を私はOKだと思ってしまったんです。私の日本語力が足りないせいでしたが、その時の私は、日本語をもっとしっかり勉強しなければという気持ちより、なんでこんなに辛いんだという気持ちの方が強くなってしまいました。仕事にも勉強にも集中できず、モチベーションは下がる一方でした。

そこで、私は考え直すことにしました。仕事が辛い時、大切な人の顔と言葉を思い出したら、それが私の力になり、もう一回がんばろうと思えます。そうやってやり続けていると、辛かった仕事も楽しくなりました。勉強もそうです。〇か×かは大事なことはありません。それより努力することが必要です。結果は努力についてくるのです。そう思って、今も少しずつですが、日本語の勉強を続けています。

来年の1月に、私はインドネシアに帰る予定です。やっと家族に会うことができます。そして、極東開発インドネシア工場の社員になるつもりです。一期生や二期生の先輩たちもみんなそうでしたから、先輩たちと会うことも楽しみです。

ところが、そんな時、ジークの先生から、研修制度が変わって、希望し、試験に合格したらまた日本で研修を受けることができるようになったと言われました。その話を聞いたとき、大きなチャンスをもたらしたんだと思いました。日本の技術を学ぶこと、日本語を上手になること、日本の文化を学ぶことで自分を成長させることが夢だったのでから。

今、私は8月にある試験の準備をしています。いつ日本に戻ってこれるかわかりませんが、必ず戻って、より高い研修を受けたと思っています。新しい未来は、自分の努力が作っていくのです。もう一歩、もう一歩

と、前へ進んでいこうと思っています。大切な人の笑顔と言葉を思いながら、私は頑張ります。ご清聴ありがとうございました。

● 来場者・発表者からの応援メッセージ

- ・「大切な人をしあわせにする」ぜひ実行してください。「いいよ」の意味は日本人にもむずかしいです。頑張ってぜひ未来を作って！（きのした）
- ・Your dream and future will come true. Semangat!!(dari KYOKUTO Harada)
- ・未来は今から、良い言葉ですね。素晴らしい未来がありますように(牧野)
- ・ことばの違いが誤解を生むことはたくさんあります。お互いが相手のことを思いやること。それが解決の道です。(出羽はじめ)
- ・アングさんのスピーチを聞いて将来を見えたかのように思いました。ありがとうございました！格好よかったです！！
- ・スピーチおつかれさまでした。とても上手に日本語を話せていましたよ。残りの日本での生活もあと少しですが体に気をつけてがんばってください。(極東開発 新井)
- ・かわいい。日本語がんばってべんきょうしてくださいね！！
- ・君のスピーチを聞いたのでどんな方法で日本語を勉強するかを知りました。ありがとう(^)(TEPIMA KASLH)
- ・アングさん 夢を実現してまた日本に来てください。(竹下)
- ・頑張ってください。でも無理しないでください。
- ・物の考え方を考えることにより文化や習慣のちがいを理解し、乗り越える事を学んだ事は素晴らしいです。今後この心をもって豊かな人生を歩んで下さい。(原田)
- ・常に夢を持ってつき進んでいって下さい。素晴らしいスピーチでした。(くした)
- ・アングさん 大切な人のためにこれからも頑張ってください。
- ・アングさん よかったです。すごい！TETAP SEMANGAT!!(タティー)
- ・これからもっとがんばってください。
- ・かっこいいね、アングさん。
- ・素晴らしいスピーチでした。ありがとう。(Sachiyo)
- ・今がつくる未来に向かってさらにステキな経験をつみかさねていってくださいね。(IFC 長谷部)
- ・日本語上手でした。素晴らしい未来を作りあげて下さい。

発表者10

鮑 瑩蕊



● 出身・ルーツ

中国

● 日本に来たのはいつ？

2017年1月

● 発表者コメント

日本に来て余裕ができ、中国に住んでいる時にはなかった新しい生き甲斐を見つけました。一つは新しい趣味です。(ロードバイクや料理)、もう一つは他の人の役に立つボランティアを考えています。

● 推薦者コメント 【つきみ野あいうえお 丸山芳彦先生】

鮑さんは、日本に来て、日本と日本人の良い点をたくさん理解され、日本語をもっと深く勉強しようとしています。彼女のスピーチは他の外国の方々にも良い影響をあたえるとおもいます。

スピーチタイトル 「日本で見つけた新しい生き甲斐」

2017年1月に日本に来てから、少しずつ新しい生活にも慣れ、私の人生の生き甲斐も変わりつつあります。中国にいた時の私が考えていたのは、家族と一緒に裕福な人生を楽しむため一生懸命頑張ってお金を稼ぐことでした。しかし今は、人生で大事なものはお金だけではなく、感性を高め、社会に溶け込んで、身の周りの人や物事の面白さや素晴らしさを発見し、自分を磨いていくことだと考えるようになりました。

このような考え方の変化から今、2つのこ

とを始めています。一つは自分の趣味を広げること、もう一つはボランティア活動に参加することです。

以前、趣味を人から聞かれたら、私の答えは読書や映画などでしたが、最近の趣味は料理を作ることとロードバイクになりました。

以前は、料理はただお腹を満たすためにすること、料理を作るのは時間の無駄だと思っていました。ある日、日本人の友達の家へ遊びに行きました。家の台所で様々なキッチン用品の多さと彼女が作ってくれた料理の美味

しさに驚きました。店だけで作れると思って  
いた料理も彼女が全部自分で作ります。その  
後、私も自宅で彼女からもらったレシピを見  
ながら、ちゃんと料理を作り始めました。  
料理作りの間は心が落ち着け、自分が作っ  
た美味しい料理を食べると、満足感が溢れて  
来ます。美味しい料理を作れば作るほど、料理  
がどんどん好きになってしまいます。

ロードバイクと言えば、以前はただ交通  
手段の一つ、出掛けたら車の方がもっと楽、  
ロードバイクに乗るのは時間とお金の無駄だ  
とっていました。今住んでる家の近所に  
境川があります。休みの日、年齢を問わず、  
川沿いでハイスピードでロードバイクに乗る  
人の姿をよく見かけました。調べたら、  
境川沿いに自転車専用道路がまっすぐ江ノ島  
まで延びています。そこで、私も体を動か  
すために、中古店でロードバイクを手に入れ  
ました。ロードバイクで走ってみると、以前は  
すごく遠いと思っていた江ノ島は一時間ぐら  
いで着けました。途中、疲れて諦めたかった  
時もありましたが、目的地に着いた瞬間、海  
の景色が広がり、気分がすっごくスッキリし  
ました。その後、ロードバイクで、大和の家か  
ら横須賀とお台場までも行きました。ロード  
バイクで体カアップとストレスを発散する  
他に、普段あまり行かない町へも行けるよう  
になり、新しい風景と人も目に入って来ます。  
この2つ新しい趣味で、私の生活は以前よ

りもっと充実するようになりました。

ボランティアの日本語教室も私に大きな  
影響を与えてくれました。先生達は予想以上  
にやさしく、親身に生徒に接してくれます。  
ある先生は足に怪我した時も、授業を休まず、  
長時間電車に乗って授業をしに来てくださ  
いました。私は日本に来たばかりの時は、  
日本語が全然できなかったので、電車に乗る  
時や買い物する時もドキドキしました。専門  
の日本語学校は家から遠いし、学費も高いの  
で、悩んでいました。でも、このボランティ  
ア日本語教室のおかげで、私は昨年12月  
に日本語能力試験1級に合格できました。  
ボランティアの先生達が一生懸命日本語を  
教えてくださる姿を見ると、私もこれから  
自分の力で人を支えられたら良いな、と思う  
ようになりました。

私が日本の大和市で暮らして以来、見つけ  
た2つの新しい生き甲斐はこれからも続け  
ていくつもりです。

もう一つわかった事があります。生き甲斐  
は決まっているものではなく、探して行くも  
ののではないかと、ということです。

ここで紹介しました私の日本での生活が  
みなさんの参考になれば幸いです。

ご清聴ありがとうございました。

●来場者・発表者からの応援メッセージ

- ・鮑さん 新しい生きがいに向けて努力することが、あなたの日本での生活を豊かにしてくれる  
と思います。そしてそれを他の方にも分けて下さい。(きのした)
- ・日本で発見した趣味を大切にしてください。日本語、上手でした。
- ・ホウさん ロードバイク・・・すてきですね。わたしもトライしたくなりました。(ひろこ)

- NI合格は鮑さんの努力の結果です。これからもいろいろなことにチャレンジして下さい。  
(酒井)
- 鮑さん 色々冒険しているようですね。日本での生活を楽しんでいる様子がよくわかりました。
- ホウさん ロードバイクで海まで行った時のさわやかな疲れが気持ち良かったでしょうね。日本語もずっと勉強を続けてください。
- 鮑さん 落ちついてゆっくり発表できましたね。練習のときより、ずっと上手でした。すばらしかったです。(すとう)
- 幸会幸会。
- 世の中はお金だけではありません。効率だけでもありません。人を含めた自然に素直に向き合うことが大事です。(出羽はじめ)
- 生き甲斐はいつも新しいことに挑戦することなのですね。素晴らしい。(牧野)
- 人生は趣味をはやく見つけてたのしくすることは一番大事だと思う。(ハンより)
- あなたのスピーチはおもしろくてたのしかったです。よくできました。(パメラ)
- 鮑さん これからも生き甲斐を探して暮らしを充実させてください。(竹下)
- 鮑さんへ 教室で練習していた時は小さな声でしたが今日は大きい声でハキハキと発表できたのでとても良かったですよ。(つきみ野あいうえお ヤマオカ)
- 鮑さん 練習の時より大きな声で発表できましたね。とても良かったです。(つきみ野あいうえお 若林)
- これからも料理やロードバイクに加え新たなことも楽しんでください。(Sachiyo)
- とってもよかった！ありがとうございました。^o^(ナタリア)
- ホウさん 自分の生きがいをみつけられて良かったですね！(IFC 長谷部)
- いつもと違ったホウさんに出会えたと思いました。(いつもはちょっとひかえめですネ。)ここをスタートに大きくはばたいて下さい。(望月)
- ホウさんのスピーチを聞いて、とても勉強になりました。とてもわかりやすかったです。
- 加油。
- 鮑さん 趣味を生かして日本での生活を楽しんでください。



発表者11

ディンダ 麗子



●出身・ルーツ

インドネシア

●日本に来たのはいつ？

2015年3月

●発表者コメント

日本語に興味があり日本語力を高めたくて、このスピーチ大会にチャレンジしました。全力で頑張ります。よろしくお願いします。

●推薦者コメント 【神奈川県立座間総合高等学校 今井美幸先生】

クラスメイトとも積極的に関わりを持ち、良い関係を築けています。授業や学校行事にも前向きに取り組み、何事にも一生懸命取り組んでいます。真面目で向上心、好奇心が非常に高く信頼できる生徒です。

スピーチタイトル 「扉を開けて」

異文化の中で生活するには、言葉の壁、習慣の壁、考え方の壁、など、いくつもの壁があります。でも、高く見える壁にも、どこかに扉があるはず。ちょっと勇気を出して、扉を押ししてみる。扉の向こうには、どんな世界が広がっているんだろう。そんなわくわくする気持ち、私は好きです。今日は私の人生の扉についてお話ししたいと思います。

まず一つ目は、日本語の扉です。私はインドネシアのバリ島で生まれました。私の祖母は日本人で、若い頃、日本の大学に留学していた祖父と知り合い、結婚して、インドネシアに移り住みました。私は祖母と母の

影響で、日本に興味を持つようになり、「いつか日本へ行って勉強したい」と強く思うようになりました。そんな私の願いをかなえるために、2015年、私は両親と日本へ来ました。

日本へ来てから、私は両親のためにも、一生懸命勉強し、そして去年、座間総合高校に入学しました。座間総合高校には、在県外国人のための特別な入試制度があり、フィリピン、中国、スリランカ、ベトナムなど、様々な国の生徒が在籍しています。学校では「ザイケン」と呼ばれています。

入学後ザイケンの人たちとは、異文化の中

で暮らす大変さを共有できる安心感もあり、すぐに仲良くなりました。その一方で、日本人の生徒とは、なかなか親しくなれませんでした。日本語を間違えて、相手を怒らせてしまうのではないかとか、相手に失礼なことを言うのではないかと、という不安があったからです。

ある昼休み、同じクラスの花ちゃんという子が、私に話しかけてきました。

「ねえ、ザイケンって何？」  
先生が私たちのことを、「ザイケンの生徒」と言うので、私に質問したのです。私はザイケンについて、説明しました。日本へ来て、まだ1、2年くらいしかたっていないくて、日本語がすごく難しく、だから漢字のテストとかできないし、先生に質問されてもわからないんだよ。。。私はあまり自信のない日本語で、一生懸命説明しました。すると花ちゃんは、「へえ！そうなんだ！知らなかった。じゃあ、私も助けないとだめだね。」そして「私は日本人なのに、全然がんばってないね。」と言いました。花ちゃんは、他の友達にも、ザイケンのことを伝えてくれて、それからは、漢字のテストのときなど、「一緒に勉強しよう」と言って、助けてくれました。

私はそのとき、日本人に対して壁を作っていたのは自分自身なのだと気づきました。共通点だけでつながる関係は、楽ですが、つまらないです。扉を押して外に出てみたら、楽しい世界が広がっていました。

二つ目の扉は、アメリカでの体験です。2年生になる今年の春、私は高校の姉妹校訪問に参加し、2週間アメリカに滞在しました。姉妹校の生徒の家にホームステイをしながら、

現地の学校に通うのですが、そこで少し困ったことが起きました。同じ高校に通う私のホストシスターには、ボーイフレンドがいて、学校でも、放課後も、いつもそのボーイフレンドと一緒にいるのです。まるで私の存在が見えないかのように、目の前で熱いハグをしたり熱烈的なキスをしたり。しかも、二人の会話のスピードについていけず、私はとぼとぼと二人の後ろをついていくだけでした。これもアメリカスタイルなのかと初めは思いましたが、このままでは、英語を使う機会も少なく、何のためにアメリカまで来たのかわかりません。言うべきか、我慢すべきか。言うにしても、私の英語力で、果たして気持ちが相手にちゃんと伝わるのか。

悩んでいるうちに、ホームステイも、あと二日になりました。私はついに自分の気持ちを伝える決心をしました。そして、思いは伝わりました。ほっとしました。翌日からは二人で、スーパーへ買い物に行ったり、話をしたり。彼女は私のために行動してくれるようになりました。とても重い扉でしたが、あきらめずに、勇気を出して押してみても、よかったと思いました。

最後の扉は、私の未来にあります。それは、いつか、インドネシアに日本語の学校を作ることです。昔、祖母が私に教えてくれたように、日本語だけでなく、あいさつや礼儀、人に対する思いやりなど、日本の良い文化や教育を取り入れた学校です。その扉はとても大きくて、開くころには、おばあちゃんになっているかもしれません。でも、「急がば回れ」。祖母が教えてくれた言葉のように、一步一步、夢に向かって、頑張っていきたいと思います。

● 来場者・発表者からの応援メッセージ

- 高校生らしい純真さで、扉を開けてゆく行動力に感心しました。将来の夢の扉も開けてください。(原田)
  - 是非インドネシアに日本文化全体を教える素晴らしい学校を作ってください。(出羽はじめ)
  - ディンダ 頑張りました！！ネ。これからたくさんの方の扉を開けていってください♡(Fukui)
  - ディンダさん 勇気を出して扉を開けていく姿はとても良いと思います。3番目の扉を開けて夢を実現してください。
  - ディンダさん 自分で押して開いた扉、私も見習いたいと思います。ありがとう。(IFC 長谷部)
  - 高校生活の生き生きした様子がとてもよく伝わりました。扉を開いて夢を実現してください。(酒井)
  - ディンダさん 表現力豊かなスピーチ、とても良かったです。ディンダさんはチャレンジャーですね。いつの日か学校も作れるといいですね！応援しています。
  - Excellent speech delivery just like a pro.
  - ”♡”すごくかっこよかったよ！！
  - You did really well. Good job! ^o^
  - ディンダさん 異なる文化の人との交流に感動しました。(竹下)
  - ディンダさん 日本語学校の夢実現させてください。
  - You are an amazing speaker! ^o^
  - 共通点がない人たちとの関係を築くことの大切さを貴方に教えてもらいました。ありがとう
- ♡



発表者12

朴 順徳



● 出身・ルーツ

韓国

● 日本に来たのはいつ？

2016年3月10日

● 発表者コメント

日本の生活の中で知ったこと、自分の考え、感じたことなどを正直に話します。

● 推薦者コメント 【大和日本語教室 藤田千賀子先生】

朴さんは大変真面目な人柄であるだけでなく、常に周囲を気にかけ、クラスのリーダー的役割を果たしています。また、一日も早く日本社会に溶け込みたいと積極的に頑張っている女性です。今回のスピーチ大会参加をきっかけに、もっと日本での交流の輪を広げてほしいと願っています。

スピーチタイトル 「もっと心を開いて」

皆さん今日は。私は隣の国、韓国から参りました朴と申します。3年前、知り合いの紹介で主人と出会い、主人の国日本で暮らし始めました。今年で2年になります。日本での暮らしを始めるにあたって、知り合いや友達から暖かい言葉で沢山の勇気と応援を貰い、早く日本の生活に溶け込みたいと願いました。

私の日本のイメージは、人との関わりをそんなに気にしなくても、自分の考えを細かく言わなくても、生活が出来る国でした。韓国と同じ四季があるとか、住んでいる人が似ていることとか、環境が似ているとかで親しみを感じたからかもしれません。

韓国にいるとき私は、仕事をしながら、

色々な活動に参加していました。例えば、障害者施設で話し相手になる、勉強の手伝いをする、服にボタンをつけるなど、体が不自由な人を助けるボランティア活動などです。時には、相手の求める事をよく理解できなくて意思疎通に失敗することもありましたが、その理由を分からないまま気にしませんでした。

日本で暮らし始めた時、一番やり遂げたいと思っていたのは日本語の上達でした。相手を理解するためには、相手の言葉を聞いて分かれば大丈夫、日本語が上達すれば日本人の夫をもっと理解できるし、日本に溶け込めると考えたからです。それで主人に「勉強が本当に好きだね」と言われるくらい、一所懸命

日本語を勉強しました。

しかし日本語を勉強しているうちに言葉は勿論話している人の心の奥底まで理解できるようにになりたいという欲がどんどん芽生えてきました。言葉だけでは人と人の心の壁は乗り越えられないと気づいたからです。

韓国の障害者施設での経験を思い出しました。あの時、横になっている人が、ベッドの敷物が外れていることを伝えたくて一所懸命体を動かしていましたが私は気が付かなくて、ほかのことをやり続けました。人の意思表示は言葉ではなく表情、眼差し、身振りなどでも伝えられるのに、その時の私は、それを受け取る心をもっていませんでした。ボランティアの精神はあったつもりですが、相手の心の中まで理解していなかったのです。

そこで、今私に出来ることは何かを探し、自分からいろいろな催しに参加してみることに決めました。去年の12月には、日本語教室の交流会の司会に挑戦しました。さまざまな国から来て集まっている人達と目と目を合わせ、聞く人を思いながら話がしっかり伝わるように頑張りましたが、同時にコミュニケーションの難しさも感じました。

そして、今年は大和市消防本部で実施した

救命講習を5回受けました。講習では心肺蘇生と胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使い方、傷病者や乳児の手当て等を学び、上級救命技能認定証を頂きました。これらの経験を通じて私は、自信を持つことが出来ました。

日本に来て2年、私は最初に思っていた日本のイメージを思い直すことになりました。人はだれでも、どこに住んでいても、憂鬱とか、もどかしい気持ちを経験するでしょう。だからこそ、自分から心を開いて人と向き合い、いろいろなことに挑戦することが大切だと分かりました。周りの人の声にまず、耳を傾けましょう。そういうささやかなことから、お互いの気持ちを理解できるし、励みと勇気を貰って、また頑張れると思います。

これから私は、日本語の勉強に加えて、できるだけたくさんの活動に参加し、より人との関わりを大事に築いていきたいです。

皆さん、これからもっともっと心を開いてお互いに励まし合いながらたくさん、良い思い出を作り、もっと幸せになりましょう。

● 来場者・発表者からの応援メッセージ

- ・朴さん とても内容のある素晴らしいスピーチでした。いろいろなことに参加し新しい世界を広げていますね。努力に感服します。
- ・スピーチすごくききやすくて素晴らしいです。
- ・朴さん 色々な事に挑戦してすごいですね。「心を開く」ことは日本人同士でもむずかしいです。頑張ってください！（きのした）
- ・日本人として生きていく、いこうとしている朴さんの強い意志を感じる内容でした。

- 朴さん 相手を理解する、想うことは日本人同士でも難しいです。朴さんの姿勢を見習いたいと思います。(竹下)
- 朴さん とても落ち着いて説得力があるスピーチでした。頑張りましたね。
- 朴さんへ スピーチがとてもわかりやすいです。迫り感があるスピーチでした。さすがですね！朴さんは日本にとってとても貴重な存在だと思います。朴さんの声をもっと周りに届けるように！！
- パクさん いろいろなことに挑戦することの大切さを日本語で伝えてくれてありがとう！！(IFC 長谷部)
- 朴さんへ 心を開くことは本当に大切です。心を通わせるためのポイントだと思います。ありがとうございました。(さいとう)
- 朴さん 朴さんのスピーチから大切なことを学びました。ありがとう！(ひろこ)
- 人と人との心の壁。よいお話でしたね。真剣なお気持ちが伝わってきました。(すとう)
- これからもいろいろな事にチャレンジして視野を広げて下さい。でも無理をしないでください。(酒井)
- 朴さん これからも人との出会いを大切にしているいろんな経験をしてください。



発表者13

アリ アクマル ルトフィ マウラナ



●出身・ルーツ

インドネシア

●日本に来たのはいつ？

2016年4月11日

●発表者コメント

わたしは2年間日本にすんでいます。日本語がまだうまく話せない。インドネシアに帰る前にこのスピーチ大会に参加すると良いと思いました。また、このスピーチ大会が忘れられない経験になると思います。

●推薦者コメント 【伊藤洋介さん】

技能実習生として日本へ来て2年のアリさんは、礼儀正しく、まじめで、日本語学習にも意欲のある人です。来日当初から一生懸命実習に取り組んでいます。このスピーチ大会でもたくさんいる会社の実習生の仲間たちの代表として立派なスピーチをしてくれると思います。アリさんを推薦します。

スピーチタイトル 「出会いが私を作る」

皆さん、こんにちは。インドネシアから来たアリと申します。およそ二年前、技能実習生として日本に参りました。今、海老名市にある自動車部品工業株式会社で技能実習を受けています。よろしくお願いたします。

高校入学以来、私はなぜ日本のような小さい国でも、発展・進歩することができたのか、もっと知りたいと考えていました。日本は学ぶべき面白い国だと思いましたので日本に行くためには先ず日本語を勉強し、その後日本で技術を学びたいという気持ちが大きくなってきたのです。日本に行くためにはどうすればいいのかなどといつも考えていまし

た。そして、日本に行くという強い意志で、技能実習生としての道を見つけました。

日本はいい国ですから、日本に来たいと考えている友達も多かったのですが、技能実習生として日本に来るということは非常に難しい選択で、来ることができた友達は多くはありません。なぜかと言いますと、体力検査や健康診断を受けて元気で健康な体であることと、3年間の故郷を離れた実習ですのでメンタルな面でも強くないといけません。ほかには複雑な数学のテストもありました。

2016年4月になってやっと技能実習生として日本に来ることができました。日本に来たばかりの頃、私は仕事や日本語や日本の生活習慣についてあまり知識がありませんでした。一番心配していたのは、日本語を話す事と聞き取る事でした。ある時など、仕事に、仕事のやり方を忘れてしまったので、日本語で会社の先輩に聞いているつもりなのに先輩は何を言っているのかよくわからないというような顔を見せ、返事をしてくれませんでした。私の日本語のレベルは通じないのかとショックでした。

それから、私は仕事の中でも、どこかに遊びに出かける時でも必ずポケットの中に鉛筆とか手帳とか辞書を入れておき、何かわからない事があったらすぐ会社の先輩に聞いたり、手帳に書いておき、あとから辞書で調べたりしてわかるようにしました。

言葉を学び、日本での生活に慣れ始めた頃に、私は日本人の性格に、学ぶべきいい点があると知りました。今までのコミュニケーションなどで次の二点が印象に残りました。

一つ目は、日本人は教えることが大好きです。私が日本に来た頃、仕事などわからない場合、先輩に何回聞いても、先輩は私にゆっくりゆっくりと、私が本当によく理解できるまで、我慢して教えてくれました。

二つ目は、日本人はいつも人に譲ろうとします。例えば、私が会社に行く時、交通信号のない横断歩道を渡ろうとすると、ほとんど

車の運転手は車を止め、歩行者の私を優先的に渡らせてくれます。運転手の、人に譲る優しい態度、いい習慣ですね。ただ、残念なことに、ときたま止まってくれない運転手もいるので、注意することも必要です。またある時など、赤信号になると車を止めなければならぬはずなのに、運転手さんが信号を無視してしまい、本当にびっくりした時があります。ですからいくら安全だと思っていても気を付けることが必要です。

日本でのこういった一つ一つの出来事や出会いが自分にとって、いつまでも貴重で忘れられない経験となっていて、インドネシアに帰りたくないと思うときもあります。

私は来年の春にはインドネシアに帰らなければなりません。残りの時間を大切にしていっしょうけんめい、今までも同じようにポケットに鉛筆、手帳、辞書を入れ、まだ知らない日本語、生活習慣、技術を勉強していくつもりです。そして、同時に、インドネシアならバリ島をすぐ思いだしてくれる日本人達に、いろいろな種類の文化に富んだインドネシアを伝えていきたいと考えています。

最後に、インドネシアに帰ったら、日本で習った事や経験した事などを活用してインドネシアの発展のために役立てたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

● 来場者・発表者からの応援メッセージ

- 仲間の支えの中でスピーチよく頑張りました。「出会いが私を作る」これからも辞書を持って、多くの人と交流してくださいね。
- アリさん すばらしかったです。インドネシアに帰ったら日本語をわすれないでね。頑張ってください。(タティー)
- Good job.
- マウラナさん 残された時間、日本のことをもっと知ってインドネシアの発展のために頑張ってください。
- インドネシアと日本の友好と発展のため、お互い頑張りましょう。(牧野)
- アリさん 日本での残りの時間を楽しんでたくさんの出会いを大切にしてくださいね。(IFC 長谷部)
- アリさん 残りの期間も日本語の勉強をがんばって、帰ってからも日本のことを皆さんに伝えてください。(竹下)
- がんばれ アリさん (ドニ)
- とってもおもしろいぞう！
- ありさんへ 日本語はとても上手です。わかりやすいスピーチでした。
- Aliさん Bagus!! (Dari KYOKUTO Harada)
- アリさんががんばってのひとです。
- がんばれ アリさん
- ガンバレ！ (フセイン)
- アリさん 後ちょっと ガンバッテ来年一緒にかえろう。(イワン)



こうひょう  
講評

発表者の皆さん素晴らしいスピーチを聞かせて頂きありがとうございました。またご来場の皆さんご参加頂きありがとうございました。それから協賛、後援いただいた、各団体・企業の皆様に感謝申し上げます。

さて本日は最初に紹介のあった7人の審査委員で審査をさせていただきました。審査はスピーチの内容と表現力という観点で行いました。

スピーチの内容は、各発表者が今・現在一番伝えたい「思い」や「考え」であり、表現力はその内容を相手にわかりやすく伝える力だと思います。いずれにしても、日本語を何年勉強してきたか発表者それぞれ違いますが、皆さんが今まで一生懸命勉強し、またこれからも夢や希望を実現するため、また生活を豊かにするために日本語をさらに勉強するんだという意欲がよく伝わりました。

そしてそれぞれの発表については、表彰の時のプレゼンターのコメント並びに、メッセージボードにある友達、先生や参加者の皆さんの沢山の感想や応援メッセージが一番の生の声なんだと思います。それらを大切に、この場で堂々とスピーチできたことを一番の自信にして、今後さらに日本語を磨いて頂きたいと思います。

最後に私は大和市内にある日本語教室の1つの教室で、微力ながら日本語学習の支援を続けていますが、本日の発表者の言葉にもありましたように、お互いの「つながり」(絆)を日本語の学習を通じて、さらに深めていきたいと思った次第です。

以上簡単ですが講評にかえさせて頂きます。本日は長時間ありがとうございました。

やまとにほんごしえん  
大和日本語支援ボランティアネットワーク

だいひょう たにくち のぶお  
代表 谷口 宣雄

じゅしょうしゃいちらん ひょうしょうじゆん  
受賞者一覧（表彰順）

◎FM やまと賞

ばく すんとく  
朴 順徳

---

◎やまと国際フレンドクラブ（IFC）賞

ほう えいまい  
鮑 瑩蕊

アリ アクマル ルトフィ マウラナ

---

◎大和日本語支援ボランティアネットワーク賞

よう かくびん  
楊 嘉敏

アリ プルノモ アジ

---

◎スポンサー賞

フィン グェン ミン アイン

パメラ ステア

チェピ ヒダヤット

ぎゅう ろいこう  
牛 睿杭

ラミレス キヨミ

---

◎大和市教育委員会教育長特別賞

げんだ まい  
元田 舞

---

◎大和市長特別賞

アンガ アスディヤンザー

---

◎オーディエンス賞

アリ アクマル ルトフィ マウラナ

---

◎公益財団法人大和市国際化協会理事長賞

ディンダ れいこ  
ディンダ 麗子

---